

5. 在宅ホスピスパートナー養成事業（人材育成・相談）

（1）在宅ホスピスパートナー養成講座

市民・学生・医療福祉従事者・在宅介護体験者などを対象に「看取りの文化の育み」「とことん当事者」「人として出会う」「聞き書き」を基軸に、地域でケアを受けている在宅療養者の人生を豊かにするパートナーとして活動できる人材を育成することを目的に講座を開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大により予定していた秋の講座の開催が困難となった。そこで、方法を見直し、ホームホスピス「もう一つの家ややさん」での現場実習を通じて学習していただくことに内容変更した。

【受講生】31名（宿泊研修：22名、1日研修：9名）

東京、新潟、北海道、福井、金沢からの応募、いずれも介護職や看護職の経験者

【受講動機】・これからホームホスピスの開設を目指している

- ・ホームホスピスで働くことを考えている
- ・ターミナルの方の訪問介護や施設介護への再就職を考えている 等

【研修内容】受講生がもう一つの家ややさんのスタッフから、ホームホスピスもう一つの家々の理念や1日の流れ、入居者の状態に合わせたケア内容のオリエンテーション後、実際にケアを一緒に行った。双方向な関わりは、ややさんのスタッフも受講生の経験から学ばせていただく貴重な機会となり、ややさんのスタッフにとっても効果的だった。

【研修後】・もう一つの家ややさんでパートスタッフとして勤務（1名）

- ・もう一つの家ややさんの排泄ケアを通じた尊厳あるケアのあり方に関心を持ち
- POO マスターとして学びを深め活躍（1名）

※POO マスター：排便ケアを基軸としたとコミュニティケアのプロフェッショナル



入居者さんと受講生
デッキで日向ぼっこ



水泳部で平泳ぎが得意だった
入居者様と同じく水泳部だっ
た受講生との一場面



入居者様の担当者会議に受講生も参加
入居者様がややさんへ入られてからの
感想をお話されています

(2) 身じまいの文化

【開催日】2月23日(木・祝) 13:00~16:00 ハイブリッド開催

【参加者】41名(会場:25名、オンライン:16名)

【講師】春日キスヨ氏(社会学者)

【内容】入院も介護もなりゆき任せにしないための元気なうちからの「身じまい」について学び、語り合った。

【評価】看取りは他者への目線だが、身じまいはまさに「自分ごととして考える」ことで、入院も介護も人任せ、成りゆき任せにせず準備していく視点を学べたことは大きな気づきをいただいた。受講生は41名で、会場には、20代から80代までの25名で、オンラインでは県外や病院や施設から16名の参加があった。講義のあと受講生全員が体験を語り合う座談会を行ったことで、受講生同士も人として出会う機会となり効果的であった。特に、訪問看護のご利用者で難病の奥さんを自宅でお看取りされた介護者の実体験を本音で語っていただいたことは、貴重な機会となった。



(3) 暮らしの保健室

【対応期間】10月~3月

【相談方法】もう一つの家ややさんでの対面相談及び電話相談

【相談件数】80件(対面:36件、電話:44件)

【評価】ホームホスピスを通じての相談は、ご家族の最期の時間をより良いものにしたいという相談が多く、まずはじっくりと相談者のお話を伺う事に勤めた。親身な相談はもう一つの家ややさんに対する信頼も得られ、口コミでややさんの事を知っていただくことにつながったと共に、暮らしの保健室という誰もが気軽に相談できる場所がある事も周知されてきた。